

弘前公園の冬支度



11月24日～3月上旬 弘前公園（下白銀町）

樹 木を板材で覆う「雪囲い」や放射線状に垂らした縄で枝を守る「雪吊（つ）り」は、雪の重さから庭園を守る伝統の技術。今年の干支（えと）である丑（うし）や大人気漫画の登場人物（!）など、さまざまな形をしたユニークな雪吊りが公園の至る所に設置されていました。

新和小学校閉校式



12月5日 新和小学校（青女子字桜苅）

全 校児童59人と教職員、保護者らが参加し、多くの卒業生を輩出した学校の歴史に思いをはせていました。新しい新和小学校は、小友小学校および三和小学校と統合し、4月に開校します。

苔玉（こけだま）づくり



12月9日 北辰中学校（高杉字五反田）

苔 玉とは、土で球状に包んだ植物の根の周りに苔植物を貼り付け、糸で固定したもの。参加した30人の生徒たちは、土の扱いに苦戦しながらも、好きな花を使って丁寧に作り上げていました。

木の実の工作



12月6日 こどもの森（坂元字山元、久渡寺地内）

こ の日は19人の親子が参加しクリスマスリースを作りました。子どもたちは、マツボックリやオオウバユリなどを好きな位置に取り付けた自分だけのリースを、嬉しそうに家族に見せていました。

弘前エレクトリカルファンタジー



12月1日～2月28日 追手門広場ほか

弘 前の冬の風物詩が今冬も始まり、木々や建物が寒さを吹き飛ばすような温かい光を放っていました。期間中は文化財施設など市内各所で点灯します。

File.33

開催方法が変わっても 作品作りへの思いは 変わらない

昨年8月に予定されていたファッション甲子園2020は中止となってしまいましたが、出場に向けてチームで取り組んできた3人に話を聞きました。



●オンライン開催を知ったときは どんな気持ちだった？

棟方 高校生活の集大成としてずっと目標にしてきたファッション甲子園だったので中止は残念でしたが、オンラインでファッションショーが開催されることを知り、「まだ終わったわけじゃない!」と気持ちを切り替えて取り組みました。

●作品の見どころは？

佐藤 授業で学んだ和服製作の技術を生かし、着物風に仕上げました。

藤田 ベルトや首元の鎖など、あえて「和」と真逆な要素を取り入れた点も工夫の一つです。

棟方 襟元のつまみ細工は一つ一つ手作りで、付ける位置にもこだわりました。



ですが、作品の出来栄には満足していません。ゴールが無いから服作りは面白い。もっともっと良い作品を作りたいです。

今号の表紙+1枚

良い一年になりますように

今号は岩木山神社を訪れた家族連れを撮影。お父さん・お母さんと手をつないで、一步一步参道を上ります。岩木山神社の狛犬（こまいぬ）は特徴的で、頭を上にした狛犬は金運、逆立ちの狛犬は恋愛運をアップさせると言われています。



弘前実業高等学校服飾デザイン科 3年

さとう りんか

佐藤 鈴夏 さん

むなかた もえか

棟方 萌花 さん

ふじた

藤田 かのの さん

プロフィール

昨年11月、全国の高校生14チームが参加する「オンラインファッションコレクション」に出場。「和」をテーマに華やかな衣装を作り上げた。